

平成26年度 山口県文書館古文書実践講座テキスト

2 四国旅日記を読む(三)

―柳井市金屋小田家文書「四国巡拝道中記」―

但しちまひにわたりて
 けしんかきかたのいふかきかた
 首のまへにまふあり
 ちのまへにまふあり
 けしんかきかたのいふかきかた

白雲寺の寺



白雲寺の寺
山田

相模
方

白雲寺

山田

△ 國分寺 寺

白雲寺の寺
 山田

白雲寺

寺の赤坂に又おまは
りて先二千石の庄持持阿
まの村に敷く阿の松元は松
城よりいふるものなり
まの式里程行方持持阿
是をいふ松城下といふもの
振お阿の寺中一毛の松
向多きなり
かの中村に
か傳へては寺の堂りく

△八嶋寺 一里

本尊 千手千眼菩薩

劣地大屯の上某堂をいふ
寺あり 某のありは身某なり
けはは平野地古の地

相よりしつしとのありあり
のまゝに城下目あり
直ぐに山城の海に東寄
阿久まふ塔の攻め信の
正差阿久太の場りの内陸
そとに之ん記をしり
りて道徳の所持候より
阿久の川邊より昔後者
持者阿久のしりて
御主人の御半二交
十五の廿二日女之
昔のしりて又候
のまゝにあり
しりて海を
かり候
しりて

坊即寺也

△八栗寺 一里半

本尊 正觀音

上心寺不_レ寸_レ也_レ丁_レ檢_レ所_レ行_レ一_レ年_レ丁_レ年_レ行_レ志_レ渡_レ所_レ備_レ為_レ一_レ餅_レ並_レ豆_レ按_レ檢_レ音

△志渡寺 一里

本尊 土面觀音

寺_レ名_レ見_レ也_レ丁_レ檢_レ所_レ行_レ一_レ年_レ丁_レ年_レ行_レ志_レ渡_レ所_レ備_レ為_レ一_レ餅_レ並_レ豆_レ按_レ檢_レ音

寺_レ名_レ見_レ也_レ丁_レ檢_レ所_レ行_レ一_レ年_レ丁_レ年_レ行_レ志_レ渡_レ所_レ備_レ為_レ一_レ餅_レ並_レ豆_レ按_レ檢_レ音

△長尾寺 四里

本尊 正觀音

村舎の如く一里の間に数軒あり
白馬の如く一里の間に数軒あり
○古くは白馬の如く一里の間に
一軒ありて其の如く一里の間に
一軒ありて其の如く一里の間に
一軒ありて其の如く一里の間に
一軒ありて其の如く一里の間に
一軒ありて其の如く一里の間に
一軒ありて其の如く一里の間に

大窪寺 五里

本尊 阿弥陀如来
西の山を登ると白馬の如く一里の間に

白馬の如く一里の間に
二の里の如く一里の間に

甲申の如く一里の間に

